

令和２年度監査報告書

令和２年４月１９日

公益社団法人 鳥取県柔道整復師会
理事長(会長) 岡村清史 殿

公益社団法人 鳥取県柔道整復師会

監事 野坂 明典

監事 山口 正夫

監事の両名は、平成３１年年４月１日から令和２年年３月３１日までの事業年度の事業報告書および会計の執行を監査した。

１．監査の方法及びその内容

令和２年４月１９日法人鳥取事務所及び新型コロナウイルスによる非常事態宣言が発せられたため電子的手段によって、総会、理事会その他重要な会議の開催通知および議事録を詳細に閲覧し、当該事業年度の事業報告書を検討した。

さらに、会計帳簿、当該事業年度にかかる貸借対照表、正味財産増減計算書並びに財産目録について慎重に検討した。

２．監査意見

（１）各種議事録及び必要業務資料は整理され所定の位置に保管されていた。

事業報告書は、法令、定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認め、公益事業である保険事業委任事業、学術広報研修事業及び県民の健康維持増進事業は、定款に定める公益目的事業として適正に執行されている。総事業費合計は 4,063,155 円であり、公益３事業費合計は 3,110,461 円となっている。その結果、公益事業比率は 76.5 %であり公益法人認可基準の 50 %以上に合致している。

なお、事業報告書の内容が十分に表現されていない部分があり、さらなる情報開示に努力されることが望まれる。ただし、ホームページ上での情報を閲覧すれば事業内容を把握することが可能となり充実している。

（２）計算書類、付属明細書並びに財産目録の監査では、会計書類は正しく整理されており、法人公益目的支出計画の実施の状況は適正であると認める。

また、法人会計は複式形式の書類作成が求められていましたが、今年度ソフトが導入され書類作成がなされており評価する。

なお、開催通知の一部にさらなる改善の余地があるものがあり努力されたい。

また、本年度における会計収支のバランスは良好でありが、少数会員による会費の総額が少なく苦しい運営が続いているおり、執行部および会員の努力を評価する。今後も事業の見直しを含めいっそうの経費削減に努め、健全な会務運営及び財政運営を目指して頂きたい。